

平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月13日

上場取引所 名

上場会社名 名古屋木材株式会社
 コード番号 7903 URL <http://www.meimoku.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 丹羽 耕太郎
 (氏名) 式守 正光

TEL 052-321-1526

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	2,162	△9.0	△10	—	△7	—	51	—
27年3月期第2四半期	2,375	△10.9	△63	—	△65	—	△13	—

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 48百万円 (—%) 27年3月期第2四半期 △24百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	141.57	—
27年3月期第2四半期	△37.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	6,195	1,963	31.7	5,391.78
27年3月期	6,029	1,925	31.9	5,287.49

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 1,963百万円 27年3月期 1,925百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	—	—	30.00	30.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年 3月期の連結業績予想(平成27年 4月 1日～平成28年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,901	1.9	38	—	26	—	14	△77.7	38.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)：有
新規 - 社(社名) - 、除外 1社(社名) 株式会社三重ナゴヤホームズ
(注)詳細は、添付資料P.3「2.サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

(注)詳細は、添付資料P3「2.サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	400,000 株	27年3月期	400,000 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	35,793 株	27年3月期	35,793 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	364,207 株	27年3月期2Q	364,207 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第 2 四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第 2 四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成27年4月1日から平成27年9月30日まで)における日本の経済情勢は、円安の定着により一部の大手製造業では活気を取り戻しつつあり、国内景気は回復基調が見られるものの、中国経済減速の影響による景気の下振れを懸念する状況で推移いたしました。

住宅市場におきましては、消費税増税後からの個人消費の低迷が続き、住宅着工件数についても回復の兆しが見られるとは言えない状況が続いております。当第2四半期連結累計期間における東海三県の新規住宅着工件数においては、総着工件数は前年度比10.0%の増加、持家着工件数においては1.7%の増加となり、前年対比で増加はしているものの消費税増税前の状況には回復しておらず、非常に厳しい環境が続いております。

このような状況の中、当社グループにおきましては、連結子会社である株式会社三重ナゴヤホームズを吸収合併して経営資源の効率化を図ると共に、地域型住宅グリーン化事業に取り組み地元工務店等取引先との関係強化、新規開拓による販路拡大に努めてまいりましたが、受注状況の改善が見られず、当初見込みを割り込む結果となりました。

以上の結果から、当第2四半期連結累計期間の連結業績につきましては、売上高は2,162百万円(前年同期比212百万円減、9.0%減)となりました。利益面につきましては、売上高は減少したものの売上総利益額は増加し、営業損失は10百万円(前年同期は63百万円の営業損失)、経常損失は7百万円(前年同期は65百万円の経常損失)となりましたが、連結子会社である株式会社三重ナゴヤホームズの吸収合併に伴って税効果会計の見直しを行いました結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は51百万円(前年同期は13百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末(平成27年9月30日現在)の当社グループの財政状態は、売上債権が前連結会計年度末に比較して32百万円の減少となりました。

また、たな卸資産は前連結会計年度末に比較して255百万円増加し、仕入債務は前連結会計年度末に比較して34百万円減少となりました。

有形固定資産は連結子会社である株式会社三重ナゴヤホームズを吸収合併したこと等により前連結会計年度末に比較して25百万円の増加となりました。

投資有価証券につきましては、株式市況が一時期に比較して落ち着いたことから、前連結会計年度末に比較して2百万円の減少となりました。

借入金残高は前連結会計年度末に比較して240百万円増加し、これらを統合して現金及び預金の合計は、前連結会計年度末に比較して83百万円減少しております。

以上の結果から、自己資本比率は前連結会計年度末に比較して0.2ポイント減少の31.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成27年11月6日に公表いたしました。平成27年3月期通期の連結業績予想については変更していません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

平成27年9月1日付にて、連結子会社であった株式会社三重ナゴヤホームズを吸収合併いたしました。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成27年 9 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	467,469	383,610
受取手形及び売掛金	894,287	861,900
商品及び製品	558,880	647,583
仕掛品	337,690	504,028
その他	44,224	32,714
貸倒引当金	△4,100	△750
流動資産合計	2,298,453	2,429,086
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,541,143	2,577,929
その他（純額）	481,014	469,883
有形固定資産合計	3,022,158	3,047,812
無形固定資産	2,131	6,314
投資その他の資産		
投資有価証券	590,569	587,721
その他	151,443	159,133
貸倒引当金	△35,211	△34,811
投資その他の資産合計	706,801	712,044
固定資産合計	3,731,091	3,766,170
資産合計	6,029,544	6,195,257
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	949,060	914,211
短期借入金	515,000	700,000
1年内返済予定の長期借入金	723,920	774,720
未払法人税等	26,935	1,905
賞与引当金	14,000	14,000
その他	90,818	96,343
流動負債合計	2,319,734	2,501,180
固定負債		
長期借入金	929,180	933,820
繰延税金負債	585,981	527,047
役員退職慰労引当金	7,150	-
退職給付に係る負債	107,577	110,004
受入保証金	128,676	128,741
その他	25,502	30,740
固定負債合計	1,784,068	1,730,353
負債合計	4,103,802	4,231,533

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成27年 9 月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	200,000	200,000
資本剰余金	6,567	6,567
利益剰余金	1,596,131	1,636,767
自己株式	△107,743	△107,743
株主資本合計	1,694,956	1,735,591
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	230,785	228,131
その他の包括利益累計額合計	230,785	228,131
純資産合計	1,925,741	1,963,723
負債純資産合計	6,029,544	6,195,257

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第 2 四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成26年 4 月 1 日 至 平成26年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年 9 月30日)
売上高	2,375,304	2,162,372
売上原価	2,035,460	1,804,851
売上総利益	339,844	357,520
販売費及び一般管理費	403,830	368,017
営業損失 (△)	△63,986	△10,496
営業外収益		
受取利息	18	13
受取配当金	11,392	11,262
仕入割引	5,999	6,726
その他	2,872	2,673
営業外収益合計	20,283	20,674
営業外費用		
支払利息	16,494	12,902
売上割引	4,828	5,045
その他	—	14
営業外費用合計	21,323	17,961
経常損失 (△)	△65,026	△7,783
特別利益		
投資有価証券売却益	48,831	—
厚生年金基金代行返上益	—	2,332
特別利益合計	48,831	2,332
特別損失		
固定資産処分損	—	30
特別損失合計	—	30
税金等調整前四半期純損失 (△)	△16,195	△5,481
法人税、住民税及び事業税	546	688
法人税等調整額	△3,211	△57,731
法人税等合計	△2,665	△57,042
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△13,530	51,561
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失 (△)	△13,530	51,561

(四半期連結包括利益計算書)

(第 2 四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成26年 4 月 1 日 至 平成26年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年 9 月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△13,530	51,561
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11,264	△2,653
その他の包括利益合計	△11,264	△2,653
四半期包括利益	△24,795	48,908
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△24,795	48,908
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成26年 4 月 1 日 至 平成26年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年 9 月 30 日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△16,195	△5,481
減価償却費	23,503	24,307
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	—	△7,150
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	4,624	2,426
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△5,150	△3,750
受取利息及び受取配当金	△11,411	△11,275
支払利息	16,494	12,902
投資有価証券売却損益 (△は益)	△48,831	—
固定資産処分損益 (△は益)	—	30
売上債権の増減額 (△は増加)	186,022	32,386
たな卸資産の増減額 (△は増加)	183,781	△255,040
仕入債務の増減額 (△は減少)	△347,581	△34,848
預り保証金の増減額 (△は減少)	△7	64
その他	15,546	9,574
小計	795	△235,853
利息及び配当金の受取額	11,143	10,924
利息の支払額	△16,451	△13,064
法人税等の支払額	△2,120	△25,887
営業活動によるキャッシュ・フロー	△6,632	△263,881
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△665	△40,993
投資有価証券の取得による支出	△659	△659
投資有価証券の売却による収入	55,029	—
その他	162	165
投資活動によるキャッシュ・フロー	53,867	△41,486
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△120,000	185,000
長期借入れによる収入	650,000	460,000
長期借入金の返済による支出	△559,910	△404,560
配当金の支払額	△10,932	△10,883
その他	△6,362	△8,047
財務活動によるキャッシュ・フロー	△47,205	221,508
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	29	△83,859
現金及び現金同等物の期首残高	694,012	467,469
現金及び現金同等物の四半期末残高	694,042	383,610

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

Ⅰ 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	営業本部	市場本部	不動産事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	1,852,370	309,858	213,074	2,375,304
セグメント間の内部売上高又は振替高	10,529	7,879	180	18,589
計	1,862,900	317,738	213,254	2,393,894
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△66,823	△73,024	86,634	△53,213

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利益	金額
報告セグメント計	△53,213
セグメント間取引消去	876
全社費用(注)	△12,689
四半期連結損益計算書の経常損失(△)	△65,026

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	営業本部	市場本部	不動産事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	1,993,147	48,449	120,774	2,162,372
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,448	2	—	5,450
計	1,998,596	48,452	120,774	2,167,823
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△62,009	△27,260	89,539	269

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	269
セグメント間取引消去	833
全社費用（注）	△8,887
四半期連結損益計算書の経常損失（△）	△7,783

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。